

記念樹

釜利谷中学校区学校家庭地域連携事業で、釜利谷中学校ブロックの各校に園芸関係の物資が贈られます。本校では、例年花の苗やプランター、腐葉土などをいただいています。今年度は150周年なので、記念の木として植えようと考えて、サクラの木をいただけるようお願いします。

ここ数年校庭のサクラは、寿命がきてしまったためか内側が腐ってしまい、周りにキノコが生えるなどしていました。植わっているのは、サクラといえばよく見る種類の「ソメイヨシノ」だと思われませんが、寿命があまり永くないと聞きます。150周年という古くからある学校なので、植えられたのもかなり昔のことで、寿命が来てしまっているのではないのでしょうか。倒れる危険も出ていたため、特に腐食が目立つ木を伐採してきました。校章や校歌に表され、学校のシンボルともいえるサクラの木が目に見えて減ってきてしまい、「寂しい」と惜しむ声が複数聞かれ、学校としても残念で心苦しく思っていました。

このような経緯もあり、今回150周年記念としてサクラを植えることで、また少しでも多くの花が春に見られるようになればと考えました。今後少しでも永く咲き続けるようにと、一般的な「ソメイヨシノ」ではない種類を選びました。やや濃いピンク色の花が咲くようです。

3月5日（火）、花ボランティアさんの活動に合わせて、技術員とともにご協力いただき植樹の作業を行いました。「陽光」という種類のサクラの苗を、通りの側に3本植えました。もうつぼみが膨らんでいて、間もなくピンクの花が咲きそうです。

